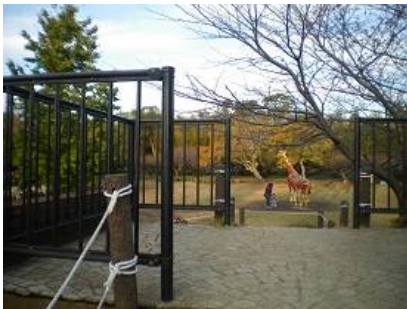


Star Fish Journal

2012年11月アーカイブ

動植物の秋の日

tsuji (2012年11月24日 13:23) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)



秋の寒さが増す紅葉の季節、人里離れた自然の中にある植物園の自然の中を歩き、平日でまばらな親子連れのいる動物園を閉館前の何時間か見ていきました。



ピクニックか、すれ違う人々は、お弁当を持ち散策に来ていて、幾人かに尋ね、近くには弁当屋はないということですが、動物園(少額)内での食堂や、館内でカップラーメンは食べられるということでした。



池の周りや木々の上の方に美しい鳥がいて、三脚を広げカメラで観察と撮影してる人も数多。

カテゴリ

月別 アーカイブ

[2012年12月 \(5\)](#)
[2012年11月 \(6\)](#)
[2012年10月 \(4\)](#)
[2012年9月 \(6\)](#)
[2012年8月 \(5\)](#)
[2012年7月 \(6\)](#)
[2012年6月 \(7\)](#)
[2012年5月 \(4\)](#)
[2012年4月 \(6\)](#)
[2012年3月 \(6\)](#)
[2012年2月 \(6\)](#)
[2012年1月 \(8\)](#)
[2011年12月 \(9\)](#)
[2011年11月 \(5\)](#)
[2011年6月 \(3\)](#)
[2011年5月 \(1\)](#)
[2011年3月 \(1\)](#)
[2011年2月 \(4\)](#)
[2011年1月 \(7\)](#)
[2010年12月 \(6\)](#)
[2010年11月 \(4\)](#)

ウェブページ

 [このブログを購読](#)

POWERED BY
MT5
MOVABLE TYPE®

検索

このアーカイブについて

このページには、**2012年11月**に書かれたブログ記事が新しい順に公開されています。

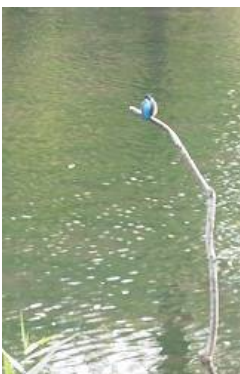
前のアーカイブは[2012年10月](#)です。

次のアーカイブは[2012年12月](#)です。

最近のコンテンツは[インデックスページ](#)で見られます。過去に書かれたものは[アーカイブのページ](#)で見られます。



今の季節にいるウソの渡り鳥やカワセミを見るのも久しぶりで、どうして逃げないのか、動物園にいた鳥たちも、植物園までいける程の空の巨大なネットを張ってなく、季節柄と日本で見かける固有種、家禽であるかなどで、写真も判断してください。

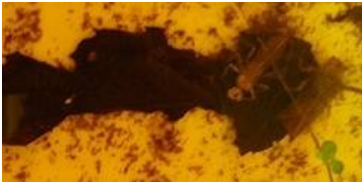


木々を撮影した日では、既に色づき始めていて、水や晴天の光に映る中、谷津に沿い歩きました。





一時的に人が見るために建物内で観察できるようにしたものもありました。大きなトンボのヤゴは成虫になるのに一年でしたか？今の時期にこの大きさなのは、サーモスタットなどあるでしょうか。



自然に近い外の池にも、人の努力の手で色が様々なまばらな鯉。幼魚時代に鳥や駆除を試みられる魚から目立ってしまわないか分かりませんでした。



ここ市川市動植物園に、この動物は名前を特定できませんが、たぶんいて、こちらは観賞植物園での入り口付近にあって、野生やいたら鯉を食べるのか、それとも植物を食べる(草食)でしたか。(レッサーパンダ？)



動物園には、どこまで大きい動物が実際にいるのかという話もあるかもしれませんが、子供でも間近で見たり触れたりできる、また動物の可愛いこどもも見受けられました。





活発に棲家になっているスペースを元気に動きまわり、飼育員が閉館間際の餌をあげる時間ですと教えてくれて、近づいて来ました。怖い動物がこちらに寄ってくるので外の方に逃げ帰り、駐車場まで追っかけてはきませんでしたが、時間でした。



亀城

tsuji (2012年11月19日 18:33) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)



このところ日や週を追うごとに寒くなり、水鳥や鯉が泳ぐところは見かけますが、亀はこの日にも見かけなかったように思います。



まちかど蔵、その時は野村の方に待機していたガイドさんは向かいの大徳にきました。後で、お堀に亀はいると言っていましたが、いつ頃のことでしたか。



うなぎの寝床と称される土浦における町屋で
大徳は土蔵造りになっています。中はザクロ
の床柱や床の間天井の捻じれ、近江八景の木
欄間を見ることができます。



今日は久しぶりに待機しているといったそのガイド
さん(名前をここに出していいのかわかりません)
に後で亀城の方に連れてってもらえるということに
なりました。



(東光寺での場面)

今日で2回目の別の講座の一団に、今日の日は
あと1時間くらいということで午前、私も混ぜて
もらい参加しました。



あまのじゃくだそうです(真ん中下付近)。
あれっ、て思い後で辞書を引くと①
わざと人に逆らう行動をする人。つむじ
まがり。ひねくれ者。
とあって、②③の意味の様です。



瑠璃光殿の中だと思いますが、後で写真を整理していますので。一緒に説明に参加しているというだけですのに、来年の干支が描かれた醫王山東光寺招福ふきんをいただいしまいました。参加費や一員？という訳でなく、使わせていただこうと思います。



この銅鐘は、ここでは一行の女性のガイドさんに聞いてみると、大晦日にも突かないそうです。等覚寺にあります。実際に棒も付いてなく、土浦城から移って来たということです。常陸三古鐘ということなのですが、他の2つの鐘の音は聞くことが出来るのか、どんな響きなのか、もしこと違ければですが思いました。



亀城一帯を前記の男性のガイドさんに説明してもらいましたが、ここ奥の民家の間のスペースの土地にお墓があって、沼尻墨僊は多芸な人の説明を受けたのですが、郁文館からの道、神龍寺の左側に置かれているものが気になって、その時は多芸よりお墓が気になっていました。



ぶらり歩きの散策途中のここにもカフェはありますが、土浦まちかど蔵・大徳にもどり、日本三大花火の一つのお土産などを見ながらアイスクリーム？どら焼き？で、昼は女性のガイドさんが最初に勧めたお蕎麦屋さんで志っぽくを食べて、そこで座って休んでいると、第22回JA写真展の蔵2階の方から、まだ(また?)ここにいるのなどを声を掛けてもらいました。



ここで案内をしていただいたガイドさんとも別れて、市立博物館へ本丸を抜けて行きました。太鼓は現在まで残る櫓門ので、太鼓の胴の内側に残っていた墨書から240年前に作られたなどを探しました。博物館の入場券で入り見ることが可能な漆喰の壁でできた復元した東櫓に櫓門の太鼓は展示してありますが、このクイズラリーは正答率80%が必要で、博物館を出て東櫓で見ないと答えられないなど、企画展内を探しまわっても出来そうにない回答もありました。時間が掛かってしまい、そちらは4:30で閉まってしまいましたが、いっおう出来ましたので、亀の様にですか歩いて途中までは全ての駅に停まりながら戻りました。

麗陵

tsuji (2012年11月16日 13:02) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)



私の住んでいる一帯にも大学もあるのですが、普段はあまり関わりもないかもしれません。ちょうど学園祭の時期が重なっているようで、大学を出てから時間もあって、ほうぼう行くのって初めてです。



着いた時間にはもう半分ぐらい始まってしまっていて、初めて

入るキャンパス内の1503と建物表示。
15階の3号室か、1階の503号室なのか、
当てが外れてますが、迷って、
登る。今回のこと、大島麻衣トーク
ショーは整理券がいることは
知りませんでした。朝10:00から
並ばないとだめでしたが家で万年筆
(私のでない)のインクの型番を探し
開けて、手に黒いのがつき、結局純製
のを注文しましたが、共通だったので
しょうか。ここには12:30頃です。



後で、屋台のたくさんある付近で
テーブルの椅子に座り昼を食べながら、
相席だった2組のご両親は娘さんと
息子さんがこちらへ通っていて、
野田と野田ですが関宿の方から見えた
ということでした。私もちょうどこの前、
関宿祭に昼から雨天中止でした(ブログ)
けれど、など、話すことができました。



私の住んでいる街から、自転車で漕いで来ました。
この辺りを通ることもあるのですが、守衛さん
もいますし、いつもは勝手には入りません。
ここへの通学は電車ですと南柏で降り、歩きやバス
を利用しているということでした。



2階では通路で結ばれ、道路を隔てた、
自転車を止めていた近くの建物の3階で、
タイの民芸品を売っている出店がありました。
昼にガパオを食べたのは初でもあったのですが、
ゾーさんが3頭入ったものを購入しました。
見方でちょっとナマズにも見えると笑いました。
隣でもまたタイの雑貨を販売していて、
先ほどのところから女の子が移動して来て
いたので、人に聞いてみるとあちらは
ラオスの支援をしているということでした。
その子に聞いたのかは忘れましたが、なかなか
現地までの交通や費用が大変なのだ
そうでした。



大島さんのトークショーは聞けなかったのですが、会場と玄関の間の階はちょうどゼミやサークルの発表スペースとなっていたので話を伺うことができました。カナダ人の方のグローバル化と現地のことと女性に対する正義のことを女性の学生さんから聞くことができました。



自動車ではなかったのですが、昼からで良いかはこの場所もありますので、外で買ったチヨリソードックでオススメというフランチエスカーナ・ヴィスビアを飲みました。



下の階では、割と騒がしいライブをこの階ではクラシカルな演奏をしていて、ビールでゆっくりしながら聞くことが出来ました。



暗くなるまで会場内でスタッフの方や彼らや彼女らが片づけをして手が空いたりして、話せたりもしたり、メインステージでの踊りなど見ていました。最後には花火があるそうだったのですが、まだ時間的に先でもあり、自宅からでも江戸川は手賀沼の花火が一部見えたことがあるのですが、どうか、尋ねるとそれほど高くないということで、何時間ぐらいか後に音だけは聞けたのですが。



その間、チャッキーモンキーアイスをシングルで頼みました。順番が来ると、カップに私の注文の識別文字が手書きで書かれていて、頼んだ女の子にChuckieってどういう意味かもあるので、聞いてみたのですが分からなく、初めての麗澤大学で見れたこともあり、また謎めいて来たこともありました。

新たな共感覚をもとめて

tsuji (2012年11月11日 13:11) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

予測不能で、変化し続ける音の場、
水面に浮かんだ陶器の皿が、取水と
排水で丸く淀みない青い池の流れ
の中で、あちこちでぶつかり合う
音を聞きながら、その場のイメージ
を眺めます。



セレスト・ブルシェ＝ムジュノ

そこを出て暗いところを抜けると、
赤い光線で文字を放ち、壁に流れる
表示と2台のピアノの音の放ちの“ずれ”
で感覚が一瞬ビビと来るように
慣れるまでですが、しました。
未意識的な空間を把握する感覚に
働き掛けるということで、音を
茶室に入り、暗く静かに聞くことが
できます。サイレンス・スピンと
コラスブドの、これは一つの作品で
しょうか。坂本龍一さんたちが
美術も考えた作品の様です。



クリスティーネ・エドルンド

植物同士、コミュニケーションを
とっているのでしょうか。私には
人間が感情移入している様に感じ
ました。人間の感覚では捉えられ
ない世界を可視化しているという
ことです。植物が発するかもしれ
ない危険信号などを、分かるには
人間性から分かってあげるしかない
のですが、人の観点では理解
できない植物のものも分かれば、
発見や人を見直すこともあるかも
しれません。



東京都現代美術館の
アートと音楽 の展覧会を鑑賞していて、
特に現代美術は分からないというか
分かりにくいことが多いので、
説明に頼って先に読んでしまいがち
ですが、あくまでも作品に対して、最初、
素直に接し、そこからインスピレーション
を得たりすることも大切な気がしました。
作品の中では＜3チャンネル・クロニクス＞や
＜干渉の部屋＞が私の視覚を動かしたり、
音そのものと絡みがいい様にして良かったです。



ワシリー・カンディンスキー

絵画も見たそのままの物よりも、
現実的な描写をしなくて
精神性を追求していくと、
それを伝えるということは難しい
ですし、私としてもどれぐらい
画家の意図を理解できるのかは
微妙な所ですが、多くの人に共感
を得る作品もあると思います。



Tadanori Yokoo

ミュージアムショップで
オーストラリアから訪れた方と美術
以外のことや何かも話し、帰る時には
暗くなっていて、地元の方でないと
迷ったりしないのか、同時に美術館を
出たぐらいの、2人とも小さなスーツ
ケースを引きずった親子と信号待ちで
西の市の方を見ていると、
また一緒になりました。



名古屋からで、まだチャックインして
なく、地下鉄の入り口まで案内をして
私は乗るのと別れましたが、言葉通り
たどり着いたでしょうか。



米沢ポークオリジナルソース(当日のランチ)

*展示作品は撮影禁止の為、展覧会ホームページより
画像の使用あり

歴史地理探訪(成田)

tsuji (2012年11月 8日 17:17) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

将門が討たれてしまい乱は治まったので、
京都へ戻ろうとしました。空海が開眼
した(とされる)尊像=安置し護摩法
を修していた不動明王を持って帰ろうと
しましたが、全く動かず、この地に留め
ました。それを知った天皇が神護新勝寺
と名付け、東国鎮護の霊場となりました。



入り口の総門の前で一人でいた女性に
話を英語で聞くと(外国人で一人で来
たけれど私は)、ブレイブだからとも
返してきましたが、空港のすぐ側です
からねなどの話をしました。



2008にできたばかりで、金剛組や大林組

が施工しました。建造物は今の段階で昔のように造るのか、工法は現代的なのか、ただ壁や塀などの表面を修復するのではないのですね。



今も昔も、大地震は起こりますので、乗っている石像も倒れたり、説明図にはちゃんと載っている平和の大塔の紐のようなものも地震のせいで、実物にはないです。



三重塔、鐘楼、一切経堂と横に並んでいます。

バク

麒麟

龍

と三重の塔の各段にほどこされ、バクは動物園かどこかで見たものを思い浮かべていると、想像上の動物ということでした。



上ばかりを見ていると、したから覗かないと見えませんが、見そびれます。この龍ではなく別箇所です。

昼の12時と、鐘楼はあと2回突かれます。ひるの時は13回なるというのは、聞きそびれました。



時間の様です。

戦国期の混乱の中で荒廃し、江戸時代までは寂れ寺となっていたと調べてみるとあり、その後復興し、市川團十郎が成田屋の屋号を名乗ったこともあります。



板石塔婆



不動明王の本地仏は洞窟の奥のほうで暗く
私が見た、たぶん大日如来はどのもの
なのか、ガイド(吾一さん)に聞いてみれば
よかったです。



大塔の不動明王は青い顔している、のは
どうしてか、一行の質問に対して、正確な
答えを探しインドのヒンズーの影響なども
思うのですがと、ガイドさんも質問に青く
なると突っ込まれていました。



私の聞いてみた質問は、儒教は親、年配者
を敬い、妻の母親？が病気で薬代金のため
赤ちゃんを売るなら、姥捨山みたいにしま
いか、が気にりました。お寺なのですが、
神道や儒教、インドの仏教なども、その
時代時代の趨勢を取り入れるようにして
きたようです。



食事の後に、駅までの参道でいくつか小物を、
この写真は境内の暗い所で撮ったので、
手に取ったアクセサリ類ではないですが、



買い物したり、
trick or treat と日本の子供が、
カフェの入り口に立つ男性英会話講師
(外国人)に言っていて、私に
はくれないそうでしたが、後で小さい耳を
つけた日本人にその写真の場面やこの
講師は、駅前の英会話教室でやっていて、
など教えてもらいました。



運んだ川の交わり

tsuji (2012年11月 4日 08:33) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

千葉県とその形から、地図を見てみると
川に沿い先の方に細くなり、利根川と
江戸川が交わる辺りが上になっています。



そこが関宿です。この日は関宿城まつり
でしたが、あいにくの雨です。
来賓者駐車場と一般駐車場があって、
利根川の堤防の内側へ片道走行の所は
待たされ、そこまで行って止めました。



上杉方と北条氏による争奪戦が繰り広げられた要所です。千葉県と考えると江戸時代初めまで、利根川は東京湾に流れていましたので、2つの大きな河で線が引けるというのはは正確ではないようです。



およそ60年掛けて利根川東遷事業で銚子の方で海に注ぐようになりました。もちろんすべての区間を初めから掘った訳ではなく既存の川をつないだりした区間もあり、関宿城もそれらの川を守りに使っていたのでしょう。



ちょうど天守閣の周りに私が着いた時には大名行列は行われていました。



この後、一行は場内に入っていった、門の扉は閉じられました。それから、門が開き一行の先頭から、その後にお殿様、お姫様と出てきて、その前ぐらいまでは動画もあるにはあるのですが、それからまた門の中に引っ込んでしまいました。雨脚が強く雨天中止にこの段階でなりました。決行ではなく、半分ぐらいの部分は見れたということでした。



ブルガリア人もいまして、雨の中
抜刀術はしていました。



にこにこ水辺公園や、4F展望室から外を見た
風景の写真3では先ほどの様に彼らや
彼女らもなく、屋台は片付けをしている
様でした。



雨の中、醤油を運んだ川の道の企画展で室内
にいました。醤油は生産量では千葉県が多い
ですが、江戸時代寛永期の終わり頃に濃口
醤油が考え出されてからこちらが産地に
なりました。以前は関西から下り醤油が運ば
れきていました。

関西の方があまり好きでないのではという
印象のものも、この前近くのお店で黒まめ納豆
という京都産を見つけたたり、変わったりします。
料理、製造方法・期間、原料の調達、消費量の
変化など、特産物の地域が生まれて来て、現在は
和食の国際化で、海や空の道で運ばれ、海外の
テーブルに乗る馴染みのあるものになっています。

[« 2012年10月](#) | [メインページ](#) | [アーカイブ](#) | [2012年12月 »](#)

Powered by [Movable Type](#)